奈良 市民

奈良は日本のよるさと。美しい自然とすぐ れた文化造産を守り、古都に住むものによさ わしい自覚と誇りに生きましょう。

療良は鬱意のまち。みんなのしあわせのた に、おたかいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあた かく親切に接しましょう。

条負はのびゆくまち。市民の額章 と関和のとれた新しい住みよいまち



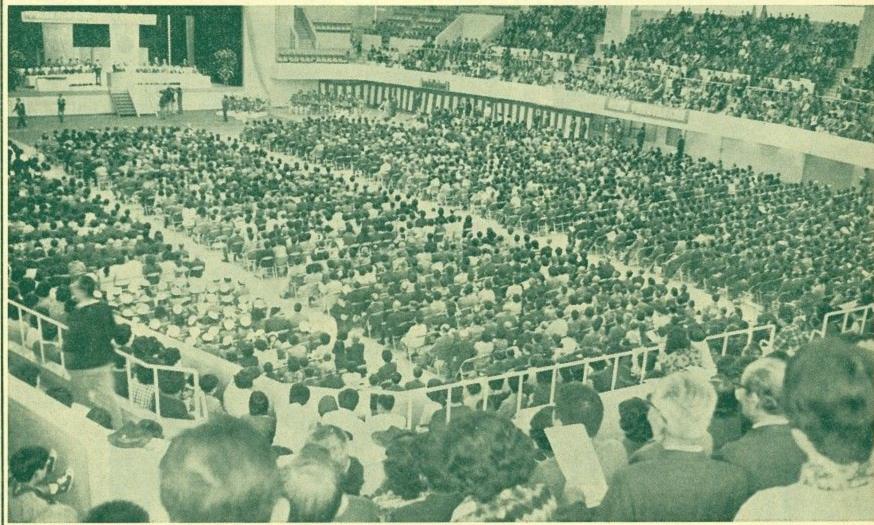
市民のうごき (10月15日現在)

前月比增

人口2248,581人(486)

男 120,800 ( 225) ( 261) 127,781

世帯数 76,895 ( 52)



中 央 体 育 館 を 埋 8 る 万 0 市 民 歓 迎 大会 二十七日



歓迎のご婦人に握手を求める孫団長

(左は鍵田市長、26日近鉄奈良駅で)

要旨は三の面に掲載)

輪を残して、京都経由横浜へ向いまし

4・5・6面 市表彩の被表 西安市友好代表团写真 彰者一覧 全八ページ



奈良市役所を表敬訪問した西安市友好代表団の一行(26日)

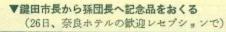
飛火野を訪れたあと、午後二時から市 した。ここでも参会の一万市民の歓迎 言び合いました。駅コンコースと駅 近鉄奈良駅に到着した西安市の一行 小品を見学、日中両国の文化交流を示 拍手の波。 。鍵田市長と孫長與団長は固い握手 あと市民の数々のアトラクションを 行は市長室で鍵田市長、加藤市議会 千二百年の歴史をほこる正倉院を見 観。三十日は大阪市内の工場、百貨 五十二段下から市庁舎までの沿道は 十一月一日午前八時三十分、数手 二十九日は佐保幼稚園・同小学

宣歓迎の中に無事におわり、昭和の歴 員会主任)の十九人は、十一月一日ま 機えて、十月二十六日奈良入りした 国西安市友好代表团歓迎

▲西安市孫団長のあいさつ

27日







▼歓迎の坊やを思わず抱きあげて親 愛の情を見せる謝副団長(26日、 正倉院入口で)



長、鍵田市長、魯副団長、加藤市議会議長=26日) ▼興福寺五重塔を背景に両市代表の固い友好の握手

(前列左から孫団





▲歓迎のママさんコーラスに飛び入りで「万才/毛主 席」を合唱する女性団員(26日、歓迎レセプションで)



▲舞楽蘭陵王を見学する代表団の一行(27日、春日大社リンゴの庭で)



▲招待日に招かれて正倉院展展示品を見る代表団員 (26日、奈良国立博物館で)



▲観迎の少年に西安市の記念バッジを贈る女性団員 (27日)



鼓笛隊(27日、市民観迎大会で) 力いっぱいの演技で歓迎する佐保小学校の



▼会場いっぱいにごくろうさん音頭を踊る奈 良市地帰連のご婦人たち(27日、市民歓迎 大会で)

えたと伝えられる奈良の都

中国の西安(長安)

を奈良市に迎えたのであり ここに西安市の友好代表団 咲く花のにおうが如く栄

り上ってきているこの時、 の友好の熱情がいよいよ盛

(3)

都から導入した文化の花を

のふる里奈良を訪問されま 民の深い友情を携えて、千 生をはじめとする西安市各 市革命委員会主任孫長興先 望の日中定期航空路が開設 四安市友好代表団は西安市 を迎え、日中両国国民待 一百年ぶりに日本民族の心 れた記念すべきときに、 菊花かおる好季であり、 私たち奈良市民は、西安 中国交関係正常化二

**乔代表のご来寧を心よりお** 

の偉大な先人たちは奈良の 鑑真和上であり、日本人で おり、 良にはその文化の生命が脈 化の花は今に伝えられ、奈 あろうと思います。これら の土となった阿倍仲麻呂で は中国の高僧・唐招提寺の 続けてきているのでありま 方には強い友情の心を持ち す。ために奈良市民は中国 脈と生きているのでありま は奈良から中国に渡り西安 人であり、この遺志と精神 人民に深い親しみを感じて 私は日中友好の第一人者 特に西安市の皆さま

> 鐘の音は今後千年、子々孫 和上もきいたであろうこの

西大寺駅

日中友好の鐘音を奈良のま

新住居表示

中に響かせ続けてきてく ち全体、いや日本人の心の

いるのであります。鑑真

わった仏教により建立され

この大鐘は昔、西安から伝

たものであり、千二百年間、

なりません。

Dr

しょうし、鳴らし続けねば ために鳴り続けるでありま 良市と西安市の友好団結の 々に伝えて、日中友好、奈

西安市友好代表団を迎えて を受け継ぎ、奈良と西安と 誓いを固くするものであり 両国友好の精神的な紐帯と ふる里同士の結縁を、日中 ます。この日中両国の心の さんを迎えて、千年友宜の 先生以下西安市代表団の皆 私はいまここに、孫長興 ますます強固にせ

合い、日中共同声明の精神 を携えて友好団結し、互い に励まし合い、互いに学び めに互いに努力いたしたい 立場で日中両国の発展のた と原則に基き、互恵平等の は奈良・西安両市市民は手

西大

王町

若葉台四

耶

CC.

寺竜

**奈良市民こぞって熱烈歓迎** 

して、友好関係を強固にい

たさねばならないと存じま

日中両国が結ばれ、日中

が友好提携をますます増進

田

忠 Ξ

郎

ばなりません。そのために

が寺西大寺新

目

芝町

西大寺

田門

40.50

丁目

凡

新

日本と中国は一衣帯水の

しあげます。

に代表団のご来訪をえて、

平和に寄与するのでありま が栄えるのであります。そ 両国の友好関係が強固にな ることが両国の千年の友好 と西安は、結ばれねばなら 族の心のふる里である奈良 れがアジアの繁栄と世界の そのためには両国の民 両市が友好団結す 両国の利益 役立つものであることを確 信いたします。 親善努力が、日中両国人民 隣友好関係の発展に大きく われ奈良・西安両市の友好 る西安市友好代表団の訪問 ることを期待し、このわれ 孫長興先生のひきいられ 友宜の増進と、両国の善 円満な成功を収められ 所期の目的を達成せら 奈良市民との交歓を通

西大寺竜王町

目

丁目

-TE

疋田町

目

あやめ池南四丁

目

酒大寺

。定田町

0

携えて、日中両国間の平 の友好に努力をいたしたい 条約の早期締結と両国千 終りに、 両市市民は手を

のであり、千年以前の友好

のためなのであります。

がいま再びここによみがえ

たのであります。このよ

良市と西安市の友好提携が、

この歴史的に意義ある奈

りなことは世界史上からみ

しも稀有(けう)のことで

いて固く結ばれ、両市市民

本年二月一日に西安市にお

古い友情によって結ばれた

及好都市提携は千二百年の

従って、奈良市と西安市の

深い交流に結ばれていた因 国の首都として厚い友好と 十二百六十年まえ両市は両

のまちなのであります。

艮と西安との関係は深く、

その歴史の中で、とくに奈

に合致するのであり、

ればなるだけ、

化交流の歴史があります。

十年にわたる友好往来と文 解邦であり、 両国間には

成功を祈り、 におけるごあいさつといた 孫長興先生を中心とする

I H

やめ池南四丁

## 西大寺地 月1 日 から実施 以近鉄線

年の友好のために、

西安市 両市千

私はいまここで、

のために、東大寺の大鐘を の代表団とその変らぬ友情

鉄線以南の区域の新 住居表示は、去る九 市内西大寺地区近 月の定例市議会の議決を得て 十一月一日から実施されま

> けてわかりやすくするもので たに街区符号や住居番号をつ

されます。 城は左図の通りで、この区域 では町名がつぎのように整理 こんど新たに実施される区

寺芝町 丁目 30 0.00 西大寺南町口

併推進協議会(会長・鍵田忠 奈良市地区農業協同組合合 来年四

十農協の合併を決定しまし

三郎市長)では、市内平地部

西大寺小坊町

年四月一日実施をめざして一 城·伏見·富雄·明治·帯解 合併総会を開くことにしてい 月に仮契約を締結、二月には では奈良・大安寺・東市・平 ます。十組合という大規模な このほど決定した基本計画 五ケ谷・辰市の十農協が来

通称町名

東市地区に設定

提唱してきました。そこで昭

かり「一市一農協の実現」を

四世帯がありますが、将来は 部で、東市小学校南側にあた これは古市町と藤原町の各一 東市地区に新しい通称町名 百七十九世帯・六百二十人に る八・六なの地区。現在八十 「藤原台」を設定しました。 市では十一月一日付けで、

や経済規模のよ

大柳生・東里

狭川の四農協 く似た柳生・ る四十七年四月に地理的条件

設立し、合併を積極的に推進 業協同組合合併推進協議会を 和四十三年四月に奈良地区農

してきました。

その結果、去

合」が誕生。残る十二組合の

の両農協を除

か合併して「東部農業協同組

は今の奈良市農協が本店、他 組合員三千六百三十八人、準 農業協同組合。 農協合併は県で の各農協事務所 大規模農協となります。当分 万円となり、県下で二番目の 百五十一人。 組合員二百十三人、計三千八 人、出資金一億四百二十三万 新しい組合の名称は奈良市 貯金高百二 職員数九十六 ではじめて。 億千六百十一 組合員数は正

りを果たします めざして農協の体質強化をは 百農指導とサー 奈良市では、 ビスの向上を 農家に対する が支店の役割 売されます。

市役所の始業

# 奈良市役所の執務時間 時間が変わる。

時五十分になります。終 半)で変わりません。 時(土曜日は午後零時 業時間は従来通り午後五 でより二十分遅く午前八 が十一月一日から冬時間 になり、始業時間が今ま

「西大寺」は略) め池南五丁目

の各一部)マ

つぎのようになります。

一番

くい町界や町名を整理し、

住居表示制度は、

大寺芝町一丁目(芝一組) ▼西大寺芝町二丁目(芝 芝二組の各一部と新田)

(カッコ内は旧通

例 住居表示实施区域 界 BŢ 名 ) al

西大寺高塚町(高塚・あや 各一部) ▼西大寺竜王町一 の各一部)▼西大寺竜王町 4目(竜王・高塚・宝ヶ丘 一丁目(宝ヶ丘の一部)

わかりに 新 称町名、 三丁目と新田の一部)▼西 西大寺小坊町(小坊・東町 部)▼西大寺宝ヶ丘町(宝 ▼西大寺野神町一丁目(野 組)▼西大寺新田町(野神 寺野神町二丁目(野神の一 神・新田の各一部)▼西大

ケ丘・竜王・野神・新田の

四丁目(あやめ池南一丁目 町(芝一組) 田の一部)▼疋田町二丁目 台五丁目と若葉台四丁目の ▽若葉台三丁目(若葉台三 ▼若葉台一丁目 (若葉台) 部) ▼若葉台四丁目(若葉 丁目と若葉台四丁目の一 台一丁目 台二丁目の各一部と新池) 西大寺新池町 一部) ▼疋田町一丁目(疋 →目と疋田の一部)▼若葉 (疋田の一部) ▼西大寺南 (若葉台二丁目) (高塚·若葉

新しい住居表示のしかたは 併 ▼あやめ池南 びとなったわけで、将来の いた十農協が今回合併のはこ せください。 ◎七○二九番)へお問い合わ 設部庶務課住居表示係〈電話 間がありましたら市建設局建 をおくばりしていますが、疑 と、新しい住居番号の通知書 度についてのくわしい説明書 これらの地区には新表示制 西大寺小坊町 号 新町名

ものといえましょう。 て大きな第一歩をふみ出した 「一市一機協」の実現に向け

# 農産物品評会 北和都市連合

駒四市でつくっている北和都 七日午後三時から同会場で即 開かれます。今年で四回目。 市守目堂町、丹波市小学校で 市連合協議会産業部会の農産 点が出品され、審査のあと十 そ菜をはじめ茶・果実・花・ 物品評会が十一月十六日(土) しいたけ・タマゴなど約八百 十七日(日)の両日、天理 奈良・天理・大和郡山・生 田辺

和夫

京良市恒例の表彰式が、ことしも菊かおる「文化の日」の十一月三日午前九時から市庁舎別館会議室で盛大に挙行されます。 市政の発展に尽した有功者三十人、教育・学芸・文化・産業の発展や地域社会、住民福祉に尽した功労者四十八人、危険を顧みず人命を敦助、または私心を捨て陰徳を積み市民の模範となっている善行者二十五人の計百三人に表彰状・記念品を贈り、その功績や善行を広く顕彰します。(被表彰者は六面にもり、その功績や善行を広く顕彰します。(被表彰者は六面にもり、その功績や善行を広く顕彰します。(被表彰者は六面にもり、その功績や善行を広く顕彰します。(被表彰者は六面にもり、その功績や善行を広く顕彰します。(被表彰者は六面にもり、その功績や善行を広く顕彰します。)

(基準)

春見

37

市議会議員

治会長、さらに同四十七年五月か

があり、市の消防行政に寄与した

の人でその指導力は模範的なもの

力となっている。東包永町。 てての行動力は市消防運営の推進 精神で消防業務を遂行、私心を捨

足代 富夫

52

時計商

昭和十四

人クラブ連合会常任理事となって して両会長を兼ねるとともに市老 東市地区老人クラブ連合会を組織 とに寿老人クラブを結成、同時に るかたわら、同三十九年三月地も

ところは大きい。杏中町。

文房具商

昭和二十

分団長に推挙された。努力と熱意

で信望を集め、入団の翌年早くも

して消防業務に精通、あらゆる面

現在同分団長。

旺盛な奉仕の

以来二十五 草分団入団

七年間東市

寺畑

政男

73

無

八年から十

昭和二十 職

在まで十一年七カ月、

任務に精励

してから現

分団に入団 消防団辰市

八年五月市

昭和三十

畑里

朝夫

49

名産卸商

四年十二月 市消防団若

今里

78

昭和二十

に貢献した。南市町。

中西

隆吉

46

金属加工業

に大きく寄与している。椿井町。

合会理事・会長も歴任、

奈良市の

脇坂

躬弦

73

進めている福祉天国のまちづくり

ら現在まで飛鳥地区自治連合会長

市議会議員

7年7ヵ月 (昭和42年5月~現在)

法建立花町

立石 米蔵

64

会社社長

昭和三十

現在まで十 年一月から

九年十一カ

団長との連係がよく、

市消防行政

ら信頼されている。大豆山突抜町。 力で災害の防除に率先、各方面か

一線に立ち部下を掌握、各地域分

の防災に携わること二十六年三カ

年七カ月を消防第一線に立つ。現

消防団若草分団員となり通算二十

意を示し、市の福祉天国づくりに 位クラブの組織づくりと育成に熱

寄与するところは大きい。八島町。

し、同二十 防団に入団 年四月市警

> 地域老人の信望を集めている。単 今日まで十年八カ月、婦人ながら

在同分団副分団長。卓越した行動

前田

直

83

職

以来、郷土 分団に入団 消防団三笠 三年八月市

現在同分団長。つねに消防第

をつとめ市政の運営に貢献。福智

30人

41 市議会議員 7年7カ月 (昭和48年5月~現在) 中御門町 史」などの書をあらわし、歴史学



7年7ヵ月 (昭和42年5月~現在) 古市町1丁目



幸春 44

市議会議員

八年以上市議会議員の職にあ

市議会議員の職にある。法華寺東 から今日まで通算十九年七カ月、



として「奈良文化の伝流」「奈 る里・奈良の歴史・文化の研究者 行に尽力。とくに日本人の心のふ 史編集審議会委員を勤め、 「書跡編」の責任者としてその刊 市史

西村 る人またはあった人

70

市議会議員 ら八年間、 六年四月か 昭和二十

さらに同三 十八年五月

永島福太郎 61 大学教授 ら今日まで 七年四月か 昭和三十

十二年七カ 月間奈良市 捨てて協力推進に努めるほか民生

「奈良春日野」「奈良県の歴



玉井 康允

などの著書をはじめ多くの論文を 葉植物から見た古代人の科学性」 るところは大きい。二条町三丁目。 発表、奈良市文化の高揚に寄与す 葉植物・植物生長ホルモン」「万 の刊行に尽くした。また植物学者 史「自然編」の責任者となってそ として万葉植物の研究は深く『万

傾けた。地区改良事業にも私心を となって長欠児をなくする努力を

筆さるべきである。 身するなど積極的な社会奉仕は特 児童委員としても住民の福祉に献

雄

会社社長 西之阪町

と自治会長をつとめるほか、昭和

ら現在まで 通算十四年 四カ月地も 七年四月か 昭和二十



史編集審議会委員として尽力、市

月間奈良市

森本 一男

56 市議会議員 会議員とな 年五月市職 昭和三十

なった人

職にある期間が二十年以上と た市議会議員で、その後当該 【特別表彰】かつて表彰され

小清水卓二 77 著な人 業等の発展にとくに功績が顕 教育・学芸・文化もしくは産 大学教授

十二年七カ ら今日まで 七年四月か 昭和三十

政運営に貢献した。 西紀寺本町自治会長をつとめ、 荒木奈良一 64 無 西紀寺本町。 月にわたり 職

年四月から 五年七カ月 昭和十三

地もと青年

組み母の会を結成して学校と一体 る。とくに学童の長欠対策に取り から市の民生児童委員も兼ねてい つとめたのを発端として地もと自 展に尽くし、昭和三十一年十一月 地域社会の発 会副会長を 上に功績が顕著な人 千秋

治会の役員を歴任、

てから二十 事長となっ 水冰連盟理 八年七月市

に貢献した功績は大きい。六条西 に加えるなどしてスキーの普及に 会長となり、市民体育大会の種目 営に当っている。昭和四十年には も献身。長年にわたって市民体育 業に積極的に協力、その指導と運 毎年開催する市民体育大会をはじ 会長を歴任、また市体育協会理事、 市スキー協会の設立に努力して副 め市が主催する各種体育行事や事 市スポーツ振興審議会委員として 一年五カ月、市のスポーツ振興に 同連盟理事長・副会長・ 努力している。西新屋町。 た。その後継者養成にも献身的に わたって郷土伝統産業に貢献し

川勝直治郎

83

48人 小川

博

68

会社役員

昭和二十

業の発展または社会福祉の向 教育・学芸・文化もしくは産 造園業 昭和二十

> の中に音楽 少年が生活

て、米国青 七年渡米し

結成の奈良木琴クラブ(現在関西 指導して心の生活を豊かにしよう た功績は大きい。坊屋敷町。 ど、社会奉仕と文化向上に尽くし 面の社会施設を慰問演奏するな などして指導奉仕、昭和二十九年 導者を招いたり木琴を買い入れる と木琴の普及に努めた。自費で指 視察、わが国の青少年にもこれを マリンパクラブ)会長として各方 を取入れて情操を養っているのを

井関

守一

83

無

職

毛筆製造菜

坂本

逸

69

をつとめ身障者の親和と福祉増進 以来二十年四カ月にわたって会長 市肢体障害者福祉協会を設立し、 を推進した。このほか昭和三十七 て建設業を営むかたわち、同苦の 障者となる。不自由な体を励まし 身障者とはかって同二十五年七月 左腕関節部切断の事故に会って身 に従事中、 川村で発電 年吉野郡天 昭和十五

松本正一

53

団体

励、上司を助け後輩を指導した。

・援護年金両課長を歴任して精

固定資産税両課長補佐、固定資産 に専念した。その間社会労働課・ 退職するまで二十五年一カ月職務

八年十一月

市職員とな 三年十一月

って同四十

実に七十七

の道に入り

て毛筆製作

六歳にし



自治会長 昭和34年7月から 通算11年5カ月



昭和38年5月から 通算10年8カ月



ラブ連合会理事もつとめた。 福祉に貢献した。また全国老人ク

大西富太郎

57

電々公社員

佐、総務部主幹、保護課長を歴任

して上司を助け後輩の指導に当っ

た。古市町八丁目。

補佐、出納室長補佐、清掃課長補 献身した。戸籍課・市民課両課長

大安寺西之町 目指会長 10年8カ月 (昭和39年4月~現在)

筒井 正一

57

無

職 昭和二十



大安寺西今在家町 自治会長 昭和30年4月から 通算10年8ヵ月

職員となり同四十八年十二月退職

とともに市 入り、合併 市村役場に

まで三十五年四ヵ月を地方自治に





クラブ結成 三和会老人

と同時に会

9年11カ月 (昭和40年1月~現在)

七年地もと

昭和三十



とくに第四期拡張事業に功績を残

た。京都府相楽郡木津町。

じめ人口急増に伴う水道の増強、 ら水道局長となり、技術指導をは

中川菊之助

56

奈良市嘱託

年八月旧東

昭和十三



自治会長 10年8カ月 (明和89年4月~現在)

道技術管理者、同四十七年六月か 貢献。昭和四十五年八月からは水 場にあって指導し、事業の完成に



地方公務員

第一次事業から同三次事業まで現

大計といわれた自然流下導水路事

業に取り組む。水道の第三期拡張



長をつとめ 地区婦人会

10年2ヵ月 (昭和39年10月~現在)



10年9カ月 (昭和39年3月~現在)



職員となっ て同四十八 八年五月市 昭和二十

56

会社員

小泉 利明

して勤続し、とくに功績顕著 防団もしくは水防団の団員と 十五年以上市の職員または消

中西 英夫 47 昭和二十

職員となり 年十一月市 同四十九年

励。その間収税課・扱護年金課・ るまで二十八年七カ月を職務に精 五月退職す

在の年齢、以下職業、表彰事績の 概要、現住所の頃。表彰該当年数

氏名下の洋数字は十一月三日現

辰野

敏一

58

市議会議員

市議会議員

7年7ヵ月

(班和42年5月~现在)

手貝町

萩森

直治

65

に功績が顕著な人

以上のほか市の公益に関し特

山本

勝治

55

市議会議員

中谷

64

昭和三十

市議会議員

7年7カ月 (昭和42年5月~現在)

平松町

市政の運営に貢献した。

阿字万字

て阿字万字町の自治会長をつとめ

月にわたっ

ら現在まで

九年九月か

昭和二十

森本

岩男

二十年三ヵ

市議会議員

7年7ヵ月

昭和42年5月~現在)

南京終町

現在まで十 年一月から

九年十ヵ月

良

大谷

た功績は大きい。法蓮町南二丁

四十二年から市同和対策推進協議

町

中村集治郎

75

墨型彫刻師

鳥校区老人クラブ長生会会長とし て老人福祉にも献身、市の進める

葉金

三郎

76

は六カ月以上を一年に切り上 概要、現住所の順。表彰該当年数

> 励。その間収税課・援護年金課・ るまで二十八年七カ月を職務に精

在の年齢、以下職業、表彰事績の

敬称は省略。順序不同。

型彫刻師と

福祉天国づくりに寄与した。

紀寺

六代目墨

して六十年

辻

富太郎

76

漆

十六歳で

献身、同四十六年からは同協議会 会委員として同和対策事業推進に

書記長として協議会事務所に動

対策事業の円滑な推進に当っ

に師事して 吉田立斉氏

有な技術なだけに後継者の育成に

解地区に未 亡人の組織

九年四月帯

村上

義雄

74

商

つとめている。佐紀西町。 の技術伝承者として伝統の維持に 苦労し、みずから三男雅勇氏をそ

今岡

重批

57

なじみ、土

ろから土に

家庭の横の組織を拡げ、

その自立

しに副会長・会長を歴任して母子 組織である市梅華会の会計を振出 って二十年、また同時にその全市 会が結成されると同時に会長とな

整田

伴吾

80

商

幼少のこ

ロクロ 練り三年・

て母子家庭のよき指導者となって 会員の身上相談にも当り身をもっ 人の多含に達した。帯解地区では と福祉の増進に努め、会員も千百

木虎

博文

48

平城郵便局長

る。下清水町。

大西

清

展に尽くしてきた。全国的にも希

奈良墨産業の維持発

来の技術を

大倉萬千子

職

近く先祖伝

市議会議員 7年7カ月 (昭和42年5月~現在) 中 鳥見町3丁目 杏 者として奈良市文化の高揚に寄与

神平

69

四年まで四 から同四十 昭和三年

ている。地域の環境改善事業の一

振興と後輩の指導に尽くした。 譲事堂天井のステンドグラスを考 和二十五年市庁舎の新築に当って 勤めて県・市の伝統的美術工芸の また議事堂掲揚の肖像の揮毫 立商工館に 運営にも協力している。 区自治連合会副会長として市政の

水野

竹蔵

7年7カ月

(昭和42年5月~现在)

登美ヶ丘3丁目

奈

森田

勝

49

市議会議員

にも当った。最近は市美術教室の 身している。 講師として後進への絵画指導に献 茨木 破石町。

藤原

好雄

42

市議会議員



7年7ヵ月 (昭和48年5月~現在)

白毫寺町萩ヶ丘

も昭和三十

笹井 智一

62

市議会議員

八年七月から今日までボーイスカ 民福祉の増進に寄与している。あ 合語会長を兼ねて地域社会のため た。また民生児童委員としても住 に尽くし、市政運営に貢献してき め池地区自治連合会長、市自治連 てからあや



岡崎貞次郎

57

市議会議員

市議会議員

7年7ヵ月

(昭和48年5月~现在)

紀寺新屋敷町

年五月退職

こと十年、とくに観光と産業に残 課長、経済部長の要職を歴任する 長補佐、観光商工課長、 て市政に尽粋。この問観光商工課 するまで二十三年十ヵ月にわたっ 自治振興

小川定治郎

58

建築薬

築大工とな

五月自営建

り四十年三

隆郎

42

市議会議員

っている。二名町。

の文化・学術・体育の交流をはか

し、青少年活動を通じての両市

市議会議員

7年7カ月 (昭和42年5月~現在)

西ノ京町

市とボーイスカウト姉妹提携を達 今年四月には姉妹都市韓国の慶州 に献身、物質的な援助も大きい。 ウト活動を通じ青少年の健全育成 市地区協議会長としてボーイスカ ウト奈良県連盟副連盟長・同奈良

47 駒郡伏見町 消防団に入 三年四月生 案 昭和二十 十八年奈良建築技能者労組設立と 十三年奈良建築労組支部長、

建築産業

いる。西寺林町。

同二 同

長として商店街の振興に尽くして

ョッピングセンター協同組合理事

見分団長として十二年十一カ月、 年三月奈良市に合併後引きつづき よく団をまとめ消防行政に尽くし で前後二十六年間郷土の防災に尽 た功績は大きい。西大寺町 市消防団員としてつとめ、今日ま 者の指導に努めるなど、建築産業 族共済制度を発足、その給付内容 件の向上に努めた。同三十年には 同時に同組合長となり、 ものである。また建築大工として 技能職人の生活を守るため組合家 に寄与したところは大きい。紀寺 は他産業に見られぬほど充実した に働く人々の社会的・経済的諸条

若い技能

力した功績は大きい。また東市地 環としての古市隣保館の建設に尽 四年十月地 会長となっ もとの自治 古市町八 現在まで五十余年にわたって奈良 広く後継者の指導育成に献身して 息二人にその技術を継がせる一方 統工芸の声価を全国に高めた。子 数々の優秀作品を発表して奈良伝 漆器の進歩向上に努めた。その間 い修業を経て大正十三年に独立、 奥田 秀雄 55 法工技術を



に師事、現 に打ち込む 在まで能面 吉田重誠氏 能面作家 年。の修業を重ねた昔かたぎの陶

四十五年近くをこの

伝習生木彫科講師となり、また後 継者養成のための彫刻グループ 彫塑の部に特選、同四十五年には た功績は顕著である。現在県工芸 秀な作品を発表、能面彫刻に残し 同会審査員に推挙され、多くの優 こと四十二年。昭和三十年二科会 「核」を結成、伝統工芸の保存に 芸家の一人、 ら戦後にかけての焼物の苦境を耐 膚焼に情熱を注いできた。 道一筋に励み、奈良伝統工芸の赤 している。赤膚町

今は後継者の指導育成に尽く

またはあった人

的団体の代表者の職にある人 十年以上自治会長その他公共

小川

義一

70

松岡嘉平治

54

和三十



榮会長、 奈良商工会議所常任 員、同商業小売部会長、学園前シ た。その前後にわたって県文紙共 の協調を図りその発展に尽くし 市内の文房具販売業者 会長として 四十人)の 友会(会員 会長・名誉 奈良市立

出田

多一郎

73

米穀商

力月、



老人クラブ もと恵毘須 七年九月地 昭和三十



遊田カメノ

66

69 般若寺町市営住宅 1.2号自治会長 10年2カ月

10年10カ月

北永井町

三笠分団斑長として上司を助け後

カ月を市消防のために献身。現在

輩の指導に当っている。

丁目。



東之版町2丁目 自治会長 昭和34年3月から 通算10年5カ月

10年10ヵ月

(昭和39年2月~現在) 法華寺東町

玉井 鈴枝

65

または条例に基づき選任され 十年以上民生委員その他法令

た審議会等の職にある人

いる。現在春日分団班長として上

七年十一カ月市の消防に献身して

在まで二十 ってから現

司を助け後輩の指導に当ってい

る。白毫寺高砂町。

前川

幸三 47

文房具商

三年八月市

昭和二十

り今日まで 消防団に入

一十六年四



東笹鉾町自治会長 昭和28年1月から 通算12年6カ月

> 組合長8カ月。奈良阪町。 九年四月から現在まで市農業共済



北半田東町 自治会長 9年11カ月



で市農業委員2年7カ月、 同四十七年五月から現在ま ら市中部農 理事16年11 年五月か 同四十 八済組合

いる。芝辻町三丁目。



梅木 繁雄 52 農 昭和二十

警防団に入 年一月市

日まで約二 入団して今

市消防団に 昭和二十

四年十二月

農 業



昭和34年4月から

通算9年8カ月

現在春日分団部長として上下の信 望も厚く率先防災に奉仕して 一ヵ月を市消防のために献身。 で二十七年

9年8カ月

(昭和40年4月~現在)

団、今日ま 警訪団に入 二年一月市

昭和二十

た。中辻南方町。 奥田博通 48 建具商

9年8カ月 (昭和40年4月~現在)

佐を歴任、市の福祉行政に貢献し

月退職する

乳幼児保育に専念した。その間若 草・春日両保育園長、福祉課長補 まで二十八年八カ月、保母として

9年8カ月

(昭和40年4月~现在)

歴任、上司を助けて市政に寄与し 自治振興課・建築課各課長補佐を た。天理市富堂町。 上岡 玉枝 56

奈良市嘱託 員となり同 年九月市職

四十九年四

付。その学校教育に対する熱意は

立ててほしいと浄財百万円を寄

一条高校の施設設備の整備に役

中筋

46

が大きい。神戸市生田区山本通五

の福祉行政推進に寄与するところ

13

赤膚町。

小林 直正

51

会社社長

昭和四十

政推進に寄与するところが大き 教育への認識と理解は市の教育行 万円を寄付。父子を通ずる青少年 全育成に役立ててほしいと浄財百

マサノ 49

福祉に対する深い認識と理解は市

てほしいと浄財五十万円を寄付。

めに役立て 会福祉のた 十四日、社

市の教育行政の推進に寄与すると

ころが大きい。生駒市一分町。 (写真は辞退されました)

教育に対する深い認識と理解は市

として浄財六十万円を寄付。学校

小学校改築 八日、伏見 八年三月十

·設備資金

の教育行政推進に寄与するところ

37

病院事務長

が大きい。西大寺本町。

昭和四十

小川つゆ

67

無

医

m

貢献している。

菩提町

昭和二十

五

医

# 市表彰

功労者」

のつづき

当と認められる人 以上のほか表彰することが適 進良 58

夜間往診に深い理解を示し、過去

十年間夜間急思対策に一方ならず

質献している。 十年間夜間急患対策に一方ならず 夜間往診に深い理解を示し、過去 今小路町。 施している 力を得て実 医師会の協 六年から市

医 医師会の協 六年から市 師 昭和二十 三好 為一

石崎 直治

45



だ

ょ

25人

隆

46

きい。百楽園二丁目。

与するところが大きい。南永井新

に対する深い認識と理解は市の福

祉行政推進に寄与するところが大

民

寄付した人

家連 71

無

職

八年十二月

とくにスポーツを通じての健

万円を寄付。福祉に対する認識と

昭和四十

の遺志とし

十日、亡父

九年七月二

昭和四十

小西 利秋

65

会社社長

昭和四十

て青少年育

福祉のため

十日、社会 八年十一月

にと浄財百

階下はがっ

市の公益のため多額の私財を

良

市

力を得て実

施している







年にわたっ

種予防接種 している各 業務に二十 市が実施

増進に貢献した。三条町。 て協力、市民の予防衛生と健康の 千田金太郎 63 医 師



増進に貢献した。富雄元町三丁目。 竹村 恒雄 市民の予防衛生と健康の 60 医

学生を救助したことがある。財塚

種子防接種

している各

市が実施

業務に二十



増進に貢献した。油阪東町。 て協力、市民の予防衛生と健康の

66

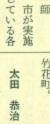
医

師

種予防接種 している各 市が実施

増進に貢献した。椿井町。 て協力、市民の予防衛生と健康の

種子防接種 年にわたっ している各 て登校、教壇に立った。なお学生 で早目に退院し松葉づえにすがっ 国立奈良病院に入院したが十日間 尽きた兄弟をつぎつぎに救いあげ を通りかかって、濁流に流される 時代にも佐賀県唐津市の海岸で小 た。この時みずからは右足に負傷 まま流れに飛び込んでほとんど力 二人の幼児(兄弟)を発見、



51

商

棠

年にわたっ 業務に二十



橋本町田村 氏(食堂) 九日早朝、 八年九月十 昭和四十

田中常次 56 商業 から出火。 一階から猛



向かったが さず救助に 氏は時を移 発見した三

の二人を無事助け出した。太田氏 れない。たがいに協力してハシゴ わくをこわし、猛炎をおかして中 を持ち出して二階によじ登って窓 そのままでは近寄 ちりとシャ





建材業

福祉に対する深い認識と理解は市 きい。忍辱山町。 の福祉行政に寄与するところが大 自分の危難をかえりみないで 人命を敦助した人 文敏 26 小学校教諭

> 辻町北の横 ごろ、尼ケ 日午前九時 九年七月一

九年五月十

転落した自動車から顔だけ出して さまれた足を車輪からはずして教 馬を押しのけて池に飛び込み、は く通りかかった二人と協力し弥次 領池にガードレールを突き破って いあげた。名も告げずに立ち去っ 助けを求めている男を発見、 折よ

職と理解は市の福祉行政推進に寄

ためにと浄財百万円を寄付。福祉

の増した今市町

一丁目の地蔵川岸

昭

かえて飲食店を経営、

万円を寄付。福祉に対する深い認

祉事業資金

日、社会福 九年九月十

にと浄財百

供養として 交通遺児の

> 降り続いた 五日夕方、

雨で水かさ

日、亡夫の

九年八月八

昭和四十

服の もの。 山曜 佐紀四町 マリ子 31

無

職



院町の通称 ごろ、興福 日午後五時 九年十月八 昭和二十

首まで水につかりながらしっかり に飛び込んで、水から手だけを出 野さんがこれを発見、服のまま池 して向うへ流されていく幼女を、 離れたところで立話をしていた山 あっという間に池に落ちた。少し んでいた二歳の幼女(大阪市) 興福池(水深一・二ぱ)付近で遊 と抱きあげて教助。 與福院町。

35 国家公務員 昭和四十

半ごろ、 日午後三時 篠梅ヶ丘町 九年七月六

篠梅ヶ丘町 工呼吸をして幼い命を教った。 声で、通りかかった川井氏が服の おぼれかけた。近くの主婦の叫び 町)が足をすべらせて池に転落し で遊んでいた六歳の男の子(秋篠 まま池に飛びこんで救いあげ、 の防火用水池(水深約二點)近く

善行がいちじるしく市民の模

きた。昭和二十七年十月、遊び場 取り組んで て積極的に 育成を願っ

っとつづけている。今市町二丁

中村 範となる人 敏昭 54 公務員 どもの健全 地域の子

自分で寄付している。さらに子ど 児童写生大会を催し、 折に触れて奈良公園・春日奥山で に当り、夏には毎朝ラジオ体操、 ブ結成以来副会長として指導育成 けている。同二十九年子どもクラ 償提供して東木辻・瓦堂両町子ど 地(瓦堂町、約百三十平方が)を無 所のない子らのために自分の所有 も会の遊園地とし、現在までつづ も銀行を設けて貯蓄心を養い、 その費用は

きてみずから遊具を配置、自費で 遊園(約六百平方景)の設置がで 力によって神社の整地を終り児童 を説いて回った。地域内の赤阪神 地域社会に奉仕するかたわら、 やりや除草、遊具の点検などをず 境を整えた。その後も毎朝早く水 マツ、サッキ、竹などを植えて環 児童遊園として生かそうと地元民 社の境内が荒れているのを整地し を説得、遂に同四十五年住民の協 域の子どもの健全育成に情熱を傾 安心して遊べる空間の必要性 地

三村 小里 60 第二次世 職

和二十年五 界大戦中昭 智氏の戦死 夫孝喜

以来、幼い子ども四人と老母をか 女の細胞で 関へいろいろの保育教材を寄付し れで、地もとの感謝は絶 ども用ハンカチ、動物のぬいぐる ている。座ぶとん、ゴム の地へ思いをはせる孝心 み、絵本のほかピアノなど 年柳生の里へ嘉参のときぬ

た。まんなおし地蔵堂には多くの 和三十二年には大蔵大臣賞を受け 会の瓦堂町会所にも敷地の一部を 寄付のほか土地を無償提供、 無償提供している。 自治

下津 サユ 75 教会責任役員 大正十二

丁目。

豪雨で夫が水防出動中、よく留守 積んだ。昭和四十七年七月十二日

の任務をよく理解して内助の功を

存命中、そ 夫正男氏が であった亡 明治分団長

を守って近所の人達のリーダーと



て神戸市に からお手伝 年應児島県 いさんとし

住み、 転住して今日に至る。 からはその手足となって尽くす。 救済事業に尽くしている。中筋町。 連盟理事としても宗教活動・社会 立するとともにその責任役員とな 主人が宗教法人らづめ大教会を設 二十年五月主人に従って奈良市に 戦争末期に身障者の疎開により同 昭和十七年主人が失明して 同二十二年 能楽の古事研究に長じ演 尽くした。古典能保存に寄与した くことのできない藝の演

川嶋 安一 農 菜

功績は大きい。東十輪院町。

能には欠

心を持ち、

教育に深い

子どもの

伏見小・伏

見中両校と

者として

松本

業



会長として 来十七年八 カ月間自治 二年三月以 昭和三十

以来五十

小学校卒

老春の家など公共施設に贈りよろ 建築を手がけてきた。今日 余暇には木製どうろうを製作して 能優秀な後継者も十数人という。 棟梁として貴重な存在である。技 建築物のメッカ奈良で伝統建築の な新築工事には陣頭に立 こばれている。 三谷 82 京終地方西側町。 ち、木造 でも重要

栄 役員

学校新設用敷地の買収に協力し

なり、人口急増で急がれる小・中

自治会長と

翌年二名町

た。自治会長辞任後も同後見人と

い関心をも ち昭和四十 福祉に深 郷里の児 なって二名小学校用地と通学道路

用地の土地所有者の間をあっせ

ん、納得を得るとともに水利権に

三年から毎 ど。先祖 柳生保育 まり、子 えない。 のあらわ ほかはない。二名町。 視し寝食を忘れての奔走は感謝の 買収を終っている。学校教育を重 所期の期限までに完了、四十八年 ても引きつづき協力、これもほぼ た二名中学校(仮称)用地につい 四月に開校することができた。ま ついても解決に努力、用地買収を

仕入れから調理、客のもてなしか 仕活動にも参加した。 日赤奉仕団の役員をつとめ社会奉 ぶりであった。こうして義母に孝 ら子どもの養育と涙ぐましい働き として模範的である。 人させた。その間地もと婦人会や 養を尽くしつつ子どもをすべて成 あやめ池南 力強い母性

若林

綾子

50

無

職

吉川 \* 78 手伝 莱



父 年 米治郎氏 にわたり 迪算六十

祭の猿楽奉納に奉仕。昭 年薪能復活とともに能舞 能作り物など設営に手 日 伝い人夫 和一十一 若宮おん とくに 台・楽屋 ともに春 部にと十二万円を寄付。北永井町。 明治分団の消防ボンブ購入費の一 なり、川の出水個所に土のうを積 い止めた。今年四月夫の病死の際 むなどして浸水被害を最小限に食 上村增太郎 70

農

書庫・花びん・松・桜・コイなど 円(44年)体育館設備資金二十万 資金十万円(46年)伏見幼稚園へ 十三万五千円。疋田町。 円(49年)伏見中学校へ学校設備 三千円(37年)学校設備資金十万 た。伏見小学校へプール建設資金 伏見幼稚園へたびたび寄付をし

松本 60 農

・仏閣の として神 华余大工

を退職後、 五年市役所 昭和四十

【上】みんなそろってリズム体操

【下】銀輪そろえてサイクリングのスタ・

央楽団林麗韞団長の一行が十 月二十三日奈良市役所を訪

た一行は市役所職員や市民ら

市同和対

日本を演奏旅行中の中国中

れ、鍵田市長を表敬訪問しま

した。午前十時バスで到着し

大仏の大鐘をつく林団長

増進と解放 の健康生活 会では婦人 策推進協議

くりをはか

チームで優勝は八条町

チ

ム、準優勝は古市町チームで

育館で開きました。参加は七 ル大会を十月二十日市中央体 って、第五回婦人パレーボー

### 古都の一日

**奈良にくつろぐ** 

中国中央楽団の一行

7チームが熱戦

**全員記録証がもらえます。** だれでも参加でき 市民・在勤者なら で催されます。小 録会がつぎの要領 催の今年度陸上記 と市教育委員会主 学校五年生以上の

市陸上競技協会 ▼とき=十一月十日午前十時 ▶種目=百姓、二百姓、四百 ▼ところ=鴻の池陸上競技場 三段とび、走高とび、砲丸 千紅、五千紅、走幅とび、 つけは午前九時半まで。 (雨天のときは中止)受け 八百於、千五百於、三

できませんでしたが、奈良を

林団長は「奈良で演奏会が

ます」とあいさつしました。 好があるだけに親しみを覚え

鍵田市長が「ようこそおい

訪問できてられしく思いま

奈良と中国は歴史的に深

でゆっくりくつろいでくださ でくださいました。古都奈良

## 市民体育のまつり

5,000 人が参加

五千

いて帝塚山学院短期大学助教 議会議長らのあいさつにつづ 開会式で鍵田市長、加藤市 ことしも「体育の日」の十月

成などもあって剣道・柔道の 間にわたって開かれました。 園陸上競技場を中心に、三日 糠成会をはじめスポーツ相談 室を開設したり、各種目には 今回は中央武道場の新築完

> るみでスポーツに親しみまし にわかれて秋の一日を家族ぐ

> > が多かった。こうした子ども

もっと楽しいのに…という声 ろ、お母さんも一緒だったら

うはお母さんといっしょに大 の運動会を開いている。きょ たちの願いをとり入れ毎年こ

いに運動を楽しみ、友情と健

大学トランポリン部員の模範 でもらえるように開放、 演技と市体操教室生の演技が 人が参加しました。 くの市民がスポーツに親しん 。広場。 を設けて一人でも多 開会式に先立って大阪体育

その他―運動ぐつ持参 資格=市民一般(学校の 午後四時 認めません)

市中央体育館

# ◎卓球=十一月十六日 開放日

クラブ活動などは (土) 午前九時~

平城宮跡の菊花大会

た東大寺の大鐘もついてもら 寺へ案内いたしますが、千二 百年の昔に鑑真和上も聞かれ 鑑真和上ゆかりの唐招提

多数の拍手に迎えられて市長

い友好関係に結ばれ、鑑真和

上も平城京に来るなど往来友

室にはいり、

鍵田市長と歓談

林団長が日

## 母子家庭の母 と子に、秋晴

母子家庭運動会 日を楽しく遊 動会が十月 れのもとで 二十日飛鳥小 と、第三回 んでもらおう 字校校庭で開 「母子家庭運

西包

美ヶ丘二丁目=

上田裕規▼曙

光町=赤羽昌彦▼高円西町=

農沢宇二政▼芝辻三丁目西=

づいて年内にもう一度実施す もはじめてで、市では引きつ

力いっぱい鐘をつかせてもら 林団長は「日中友好のために います」とにこやかに語りま いましょう」と歓迎すると、 唐招提寺を見学したあと東

遊んだり春日大社へ参拝しま ぼった鍵田市長、 大寺へ回り、境内の鐘楼にの 仏殿をみたあと飛火野で鹿と 大鐘をつきました。東大寺大 中友好の願いをこめて仲良く

ご婦人の力強い宣誓

# 平城宮跡にかおる菊花壇

奈良でこのように立派に育っ で、平城宮跡は日本菊の発祥 西安のお客さんに中国から伝 の地であります。ちょうどい 前、中国から伝えられたもの テーブを切り「菊は千二百年 利夫京都産業大学教授ら三十 ているよとお見せする千載 ま西安市から孫長興主任ら十 へが出席。 鍵田市長が開場の はつぎのとおりです。 配布します。今月の実施区域 11~12日 | 東包永町、 なお、ご不審な点がありま 町、西笹鉾町。 永町。▼18~19日||東笹鉾



# 家庭配線の健康診断

県電気工事工業組合

が実施

あと、歯科医師二十八人と歯 ために」と題する話を聞いた 医師から「虫歯をつくらない

予防歯科センターの森高廣

導と検診にあたりました。大 科衛生士十六人が歯ブラシ指

施に先立って各自治会を通じ 電気設備を点検しますが、実 気工事店がご家庭を訪問して っています。同組合所属の電 の電気配線の無料診断を行な 良個所をなくすため、ご家庭 て「個別診断のお知らせ」 ただくと同時に電気配線の不 電気を安全・便利に使ってい 県電気工事工業組合では、 ださい。 八八二番) したら同組合(電話の四三四

所(電話29一二〇一番)、同 男マ雲雀ヶ丘= ○番)か、関西電力奈良営業 ─中田恒治▼宝来町─福田重 サービスセンター(電話公四 【町内自治会長】▼菅原東町 新自治会長 へお問い合わせく 10月25日 現 在

て歯みがきに懸命。 の練習。つきそった父兄も子 ラシを使って実際に歯みがき を習ったあと、配られた歯ブ どもと一緒に口を大きくあけ きな歯ブラシで歯のみがき方

不自由児の歯科検診は全国で ッソ塗布を与けました。 は早速その場で治療。全員フ このような大がかりな身体 検診で虫歯が見つかった子

康をたかめてもらいたい」と 励ましました。 玉入れ競争に始まり、

月八日に審査が行なわれま

根うえに汗を流しました。

帯解駅横の空地を選び古いま

まず、人目によくつく国鉄

回「市民体育のまつり」が、

体操。会場いっぱいにとんだ 授松本迪子氏の指導でリズム

かれ、

お母さんと子どもら三

百人が参加しました。

りはねたり、腰を曲げたりで

来資も汗を流していました。 鍵田市長、加藤市議会議長ら

で一日父親の会を催したとこ

たちを招いて鈴鹿サーキット

鍵田市長は「まえに子ども

このあと、それぞれの会場

澄みきった秋空の下で第七

どもたち、なごやかな楽しい さんの健闘に拍手をおくる子 をおくるお母さん、またお母 グラムにみんな大はしゃぎ。 船あおぎ競走など多彩なプロ 別五十ば競走、借物競走、 一日でした。 たくましく走るわが子に声援

# 西安の友も楽しむ 一百年ぶく

の広場で開かれました。 一十一日平城宮跡覆い屋西側 平城宮跡菊花大会」が十月 奈良市と県菊花協会共催の 開会式には鍵田市長、久保

の西安市友好代表団も二十九 合花壇二、合計五百鉢がふく 菊三本立十二鉢組花壇三十、 よかな香りをはなち、来寧中 特殊花壇二、福助花壇二、総 場には、県内愛好家から出品 された各種の菊がずらり。 特設されたよしず張りの会

会期は二十一日まで。 +

遇の好機でもあります」とあ いさつしました。

ご婦人の花壇づくり

い」とあいさつ。

て、できる限りの協力をした

とが大切です。みなさんのむ はまずむし歯をつくらないこ にふえてきた。身体不自由児

し歯治療には歯科医師会とし

会々長が「母、近むし歯が非常

つづいて福岡保郎市歯科医師

務理事から経過報告があり、

まず林秀彦市歯科医師会専

不自由児三十三人と父兄約四 前九時半から「みどりの家」 師会の協力で、十月十三日午 た。参加したのは中度の身体 と口の衛生指導を行ないまし 市福祉事務所では市歯科医 身体不自由児の歯科検診

うえ整備しました。 不自由な子に 歯みがき指導

日午前八時から会員約四十人

て、地区内を季節の花である

の花壇にもいろいろの球根を のフラワーカップや児童公園

れさせよう」と、十月二十三

子会長)では

市が推進して 会(垣内中日

えました。このあと、地区内 シンス、テリなどの球根を植 り施してチューリップ、ヒヤ

花壇をつくり、肥料もたっぷ

くら木を積み上げ土を入れて

帯解地区婦

花壇

つくり 帯解地区

いる花いっぱ

運動に協力し

がまちに出て花壇づくりと球

日々のお買物や現金の出入

みそ講習会

講習会はことし二万

再受講

好評のみそづくり

定員に余裕、

申込みを

かつ値段も割安となって

記入しやすく、

手ごろ

わかりや

座の振替えなどの記録欄を

及目標に連日開いて の分は五千世帯を普

その日その日の収支

余裕がありますので、

いますが、

いま定員

は生活安定課のほか南部

受講料は千八百円。

備忘録

に申し込んでください。

なお再受講の講習会場は、

民票のある市民課、

または西

が直接の死因にならないため

住

餌で行なわれます。

歯の病気

すが、

歯や口の中の病気が原

つい軽く考えられがちで

因で全身の慢性の病気にかか

人の歯科検診がつぎの要

年間延長されました。 お手もとの米穀通帳は、

期になります。ふつうカ なって頭病を訴え、 ると同時に全身がだるく 39度の発熱があって寒け 潜伏期をおいて急に38~ によって感染します。 ます。それは、 るほど多くの人がかかり せといえば流感といわれ のごろ、冬へ向って流行 もに寒さが身にしみるこ に心がけましょう。 にすませておかねばなり ゼが流行しだすころまで をしておきましょう。 ンザワクチンの予防接種 グミンA 人によってはセキが出た 日あしが短く日没とと 本格的流行 期 関節が痛くなります。 症状は二~六日ほどの 皮膚をきたえるよう いまからインフルエ ふるえを覚え ウイル 食事もど K のほか収支の年間計画表をは はじめ、 を用意した百四十四ページの 整理欄をそなえています。 りのほか、現物の贈答、銀行 見を取入れ幾度か改訂修正を じめ月別収支決算表、 加えてきたもので、 経験に加え、

にご注意。

央委員会発行の

「明るい生活

寺林町、電話砂一一一一番)

書は同課にそなえて

あ

b

主

最初富雄

高円

南部各公民

部

東部・

北部いずれかの出

午前九時県庁前集合マコー

っている人が多

いようです。

與福院一不退寺一芸亭跡一

そう高めるため、

今回は従来

歯や口の中の衛生知識をいっ

へ持参ねが

えば有効期限

館を予定してい

ましたが、

」目)に変りました。

「みそ会館」(市内大宮町

を訂正します。

、申し込んでください。個人

に市役所生活安定課

(市内東

委員会が発刊以来二十三年の の家計簿」です。これは、

全国利用者の意

冉受講をどうぞ

◎流感(インフルエンザ)

ょ

んな激動の時代には家計簿は

五十年の家計簿をあっせん

市で一

とをうけての物価の続騰に、 物価のあ することになりました。おす 主婦方の要望にこたえて、

一家に一冊は光の家計郷

いよ欠かせなくなりました。 生計をはかるため

お世話します

家計簿はいかが

生活安定課で

日本舞踊を観賞

老春の家 スもあります。 春の家」で「藤 どい」がつぎの 間流おどりのつ どりを楽し ように催されま お年寄りにお 当日はま

午前十一時又舞踊—藤問 月二十四日(日)

6

糸のサ

希望の方は十一月三十日まで 十円程度になる予定です。ご いすれば二百円です 括購入すれば百五 住

民検

結核や肺ガン の早期発見をめ ざして、市では

ことしも住民検診をつぎの日程で行ないます。

月日 場 [13] 所 時 9.45~10.30 奈良阪町平城山毎日牛乳販売所前 10.40~11.40 般若寺町 植村医院前 市営住宅1号館前 1.00~ 1.50 般若寺町 2.00~ 2.40 東/阪町 児童公園前 鼓 2.50~ 3.30 東ノ阪町 南団地内 雑司町 大谷美容院前 9.45~10.30 川上東町 会所前 10.40~11.40 11. 13 川上西町 秋田五兵衛氏宅前 1.00~ 1.40 川上町八反田 藤山商店前 1.50~ 2.40 水門町 吉田孝雄氏宅前 2.50~ 3.30 9.45~10.30 油留木町 竹喜商店前 11. 14 10.40~11.30 川久保町 地藏前 松岡板金東側 東包永町 1.00~ 2.00 3.10~ 4.00 三笠山麓町 朝日軒若草山駐車場 1.20~ 2.00 無髮奈保町 八田自治会長宅前 11. 14 (木) 2.10~ 3.00 北半田西町 岡嶋自治会長宅前 10.00~10.50 11. 15 法華寺東町 公民館 11.00~12.00 (金) 1.30~ 2.10 法蓮東垣內町 八家自治会長宅前 10.00~10.40 奈良山町 中島登氏宅前 佐保田町 狭岡神社前 10.50~11.40 法莲佐保一区 三喜屋東側 1.00~ 1.40 法莲佐保川東町谷口自治会長宅前 1.50~ 3.00 3.10~ 4.00 高天センター前 9.50~10.40 菖蒲池町 三岡会館 芝辻プラス町 文化カメラ店前 10.50~11.40 北市中町 飯田医院前 1.00~ 2.00 保 法蓮佐保川南町 加藤商会前 2.10~ 3.00 法蓮桜町 児童公園 3.10~ 4.00 法蓮吳竹町 阿部商店前 2.10~ 2.50 西包永町 佐保トップセンター前 (水) 3.00~ 4.00 11. 15 芝辻3丁目 荒木タバコ店前 2.20~ 3.30 10.00~10.40 今辻子町 勝栄堂前 10.50~12.00 西之阪町 三笠保育園 大 11. 21 三条今井町 今井橋詰 1.30~ 2.30 三綱田町 三条会館前 2.40~ 3.30 9.45~10.30 三条本町 奥辻卜《工氏宅前 10.40~11.40 大宮町1丁目 上北薬局前 (金) 1.00~ 1.50 大宮町2丁目 米田珠算学校前 2.00~ 2.40 大宮町3丁目 辻岡工務店前 芝辻2丁目 美幸莊前 2.50~ 3.40 10.00~11.00 三条宮前町 大宮デバート前 宫 11.10~12.00 三条添川町 谷口住宅前 1.30~ 2.10 三条大宮町 三輪工機前 2.20~ 3.00 三条桧町 竹内自治会長宅前 大安 11. 25 寺 (月) 3.10~ 3.50 恋の窪2丁目 公園前 3.30~ 4.20 二名町赤松 西本辰雄氏宅前 富 (水) 9.45~10.15 二名町 域公民館 11. 20 月見橋農協倉庫前 10.20~10.50 雄 (水)

富雄三碓 公民館

11.00~11.30

### 1974 行事予定



1日(金)灯台記念日、新 米殼年度、狩猟解禁、文 化財保護強調週間(~7 日) 糖尿病週間(~7日)

• 平城宮跡菊花大会(~ 20日、平城宫跡)

3日(日)文化の日、憲法 公布記念日

• 市表彰式 (市庁舎別

November 館)

金婚祝賀会(市庁舎別館)

• 鹿の角切り (奈良公園鹿苑)

• 市子ども会第1回ソフトボール大会(春

4日(月)

• 県婦人バレーボールクラブ結成記念親善 大会 (中央体育館)

ちびっこ野球総合優勝戦(市営球場)

5日(火) お年玉付年賀はがき発売

6日(水)

• 都跡地区住民実態調査(~8日)

8日(金)立冬

• 学園南地区市政懇談会(西部公民館)

火災防御警防対策訓練(法華寺東町)

9日(土)

・高校バスケットボール新人大会(中央体 育館)

10日(日)技能の日

・花の市(行基噴水広場、西部公民館広場)

第2回市生涯教育推進大会(西部公民館)

• 婦人バレーボール選手権大会(中央体育 館)

11日(月)世界平和記念日

・登美ヶ丘地区市政懇談会(登美ヶ丘小学 校)

13日 (水)

• 学園北地区市政懇談会(西部公民館)

15日(金) 七五三の祝い

・あやめ池地区市政整談会(あやめ池公民

17日(日)家庭の日

18日 (月)

警防対策訓練(富雄中町追分)

火災防御警防対策訓練(白毫寺高砂町)

20日(水)

• 带解地区市政魁談会(南部公民館)

21日 (木)

• 東市地区市政懇談会(東市公民館) 22日(金)

精華地区市政懇談会(精華小学校) 23日(土)勤労感謝の日

24日(日)

• 創作舞踊研究発表会(中央体育館)

平城地区市政懇談会(平城農協)

26日 (火) 秋の全国火災予防運動 (~12月2 日)

27日 (水)

飼いましょう

つないで

大はかならず

• 富雄北地区市政懇談会(富雄中学校) 29日(金)

富雄南地区市政懇談会(富雄南小学校)

### 所・氏名・年齢を書いて代表 グループで、参加者各人の住 者から申込書を出してくださ グループの組めない人は 各公民館に備えてあ

有効期限延びる

日までさらに 年十月三十 によって五十 食糧庁の指示

お導に

重点を置

て成人を検診

穀類購入通帳 (米穀通帳) いる一般用米 (十月三十 有効 ま使って 期

日まで) から とき=十一月十七日(日)

ように開かれます。 外活動協会共催の 市子ども会連絡協議会と野 リーハイキング」がつぎの イキング アミリ

「秋のファ 市民課 17日

員会社会教育課青少年係へ 団体・個人別に。 内紀寺町八二六、市教育委 込み=十一月十日までに市 拝観料は各自負担)▼申し ツとフォークダンスのつど あと平城宮跡で軽スポー い▼参加費 =無料 (寺院等 平城宫跡一資料館

指導。 導=歯のみが スライド上映、 検診=歯や口 配布。  $\nabla$ ▼歯と口の清掃指 衛生教育=映画, の中の診察と パンフレッ

齢制限なし)。 歳~六十四歳の せん。十一 で実施します。 受診者は原則として三十五 歯ブラシ進品。マ懇談。 月中 の日程はつぎ 方(婦人は年 費用はいりま 全市約十カ所 き方の指導、

の通り。 11月14日 ||田原地区

▼持参するもの―老人健康診 医療証。 査カード、健康保険証、老 院で、できるだけ近いとこ お問い合わせは市社会福祉 ろが便利。

五〇一番) 學務所福祉第 人医療受給者証または老人 一課(電話8六

この機会にぜひ受診し、自分 の健康をたしかめてくださ 受診場所=市内の病院・医 期間=十一月一日~三十日

四月一日以前の出生の方)は 六十五蔵以上(明治四十二年 をつぎの要領で行ないます。

の老人健康診査(無料) ひ受けてください 65歳以上の方はぜ

時間はいずれも午後二時 三時三十分。 月28日(木)=柳生地区 (柳生公民館) (田原公民館)

ぎのような内容

で実施しま 部変更してつ